

和田島こども園の定員増加の理由

1 位置関係や保育申込の状況



(1) 両園の位置関係などについて

・子ども子育て支援事業計画上、和田島こども園は**清水山間区域**、吉原保育園は**清水庵原区域**に位置する。(清水山間区域には0～2歳児の受入が可能な保育施設はない)

・和田島こども園と吉原保育園は、約3.2kmの距離にあり、周辺道路の状況も近似していることから、同一の生活圏と言える。

(2) 和田島こども園近辺の保育ニーズの状況

・和田島地区に居住する児童(0～2歳児)の利用先の状況は下表のとおりである。(令和5年2月1日時点)

園名 (利用先)	区域	0歳	1歳	2歳	合計	割合
興津北こども園	庵原		1	1	2	15.4%
西久保こども園	庵原		1	1	2	15.4%
庵原こども園	庵原			1	1	7.7%
吉原保育園	庵原	1	1	1	3	23%
ふたば保育園	庵原			2	2	15.4%
あい保育園国吉田	東南			1	1	7.7%
清水やぐらこども園	庵原	1			1	7.7%
ももはな	庵原			1	1	7.7%
合計		2	3	8	13	

吉原保育園の廃園 (令和6年度末)

和田島こども園の増築による保育定員(0～2歳)の増加による対応

★保育供給量に不足が生じていない清水山間区域で定員の増加を行う理由

- ①廃園する吉原保育園において、和田島地区に居住する0～2歳児の受入を一定数行っていること。
- ②和田島地区での利用希望調査の結果から、地元保育施設があれば利用したいと答えた人が約半数を占めていること。
- ③和田島地区から最も近い0～2歳児の受入を行う保育施設は庵原こども園(約8.2km)であり、当該園までの狭い道路状況を考慮すると送迎時の保護者の負担が大きくなること。

2 和田島こども園の定員数について

・(1) 和田島地区の児童数、(2) 利用希望調査の結果、(3) 保育教諭の必要数などを、加味し**0歳児3人**、**1歳児4人**、**2歳児6人**とする。

(1) 和田島地区の児童数 (R4.3.31時点)

0歳	1歳	2歳
7	3	9

(2) 利用希望調査の結果

・自治会連合会が未就学児のいる家庭に調査した結果では、和田島地区に保育施設があれば利用したい(利用したかった)との回答が約半数を占めた。

→(1)(2)から、0歳児3人、1歳1人、2歳4人程度の申込者が生じることを想定できる。

(3) 保育教諭の必要数

- ・0歳児：保育教諭1人につき園児3人
- ・1歳児：保育教諭1人につき園児4人
- ・2歳児：保育教諭1人につき園児6人